

平成二十六年三月投句

【筑紫神社】

三毛猫の寝て陽炎ひのトタン屋根

初午や宝満山の晴れ渡り

従姉妹ですみな似てゐます春日向

勝利

青文字の花にあたたか登山口

真理子

雁帰る吾も新しき日に向ふ

直会へ手招きの禰宜あたたかく

林道のこれより続く花しどみ

早春の風祓はるる幣にかな

囀りを聞かせる電話耳にあて

節子

生きにくし世とは死ぬにも涅槃西風

由紀子

春煖炉ランチタイムは過ぎてをり

家の根繕うて夫赴任地へ

垣繕ふはずの父亡き一年を

炭浅く埋けてありけり春炬燵

光子

【お休み】

佳与子

あのあたり水城の森や青き踏む